

二次性高血圧について

副院長 北端 宏規 きたばた ひろのり



二次性高血圧とは？

高血圧は、原因を特定できない本態性高血圧と原因を特定できる二次性高血圧に分類されます。頻度は前者が約90%、後者が約10%とされています。一般的に、二次性高血圧は重症または治療抵抗性高血圧であり、若年発症や急激な発症などが多く、原因を早期に特定して治療することにより、血圧の効果的なコントロールや治癒が可能な例もあり、まずは二次性高血圧を疑い早期に精査を行い治療介入することが重要となります。

二次性高血圧にはどんなものがあるの？

二次性高血圧の原因として、腎実質性高血圧、また、原発性アルドステロン症、腎血管性高血圧、クッシング症候群、褐色細胞腫、甲状腺機能異常などの内分泌性高血圧が挙げられます。



どんな時に二次性高血圧を疑うの？

上記のように内分泌性高血圧は多岐にわたるため、除外診断は容易ではありません。まずは、問診や身体所見、血算、電解質、尿検査などの一般検査所見から二次性高血圧を疑うことが重要となります。また、既存の降圧薬3剤併用療法に治療抵抗性を示す高血圧も二次性高血圧を疑う必要があります。

当院でもスクリーニング検査を行っておりますので、二次性高血圧が疑われる、また、血圧がなかなか下がらず二次性高血圧が心配という場合には一度受診いただきご相談ください。

リハビリテーション科の取り組み

～作業療法士による集団活動～

当院では関心や集中力の向上、脳の活性化や他者との交流、達成感や満足感を得ること目的とし、月2回、作業療法士が中心となって入院患者さんを対象に集団活動を実施しています。長い入院生活のわずかな時間ですが、患者さんにとって刺激のあるものになればと思い、季節にあった作品作りや飾り付け、レクリエーションを提供しています。作業中は普段とは違った表情や反応が見れ、より深く患者さんを知ることができる非常に良い時間となっています。今後も入院生活の新たな刺激となるよう、継続して取り組んでいきたいと思っております。



●第25回和歌山県病院協会学術大会(令和2年11月15日 於:ホテルアバローム紀の国)

一般演題

- 『透析患者の栄養状態改善を試みて
～栄養管理ノートを利用して～』
腎センター 看護師 土岐喜昭
- 『やる気に対するアプローチ方法を考える
～在宅での自主トレーニング指導を通じて～』
リハビリテーション科 理学療法士 宮本晶太



●第18回和歌山県病院大会(令和2年11月15日 於:ホテルアバローム紀の国)

- ◆優秀職員会長表彰
濱真理子副院長兼総看護師長
- ◆永年勤続者会長表彰
柏田あゆみ看護副主任

■写真左から
名誉院長 成川守彦
副院長兼総看護師長 濱真理子
看護副主任 柏田あゆみ
院長 成川暢彦



新型コロナウイルス感染防止のため延期していた イベントを再開しました!

時間短縮や参加人数の制限、体温チェック等
感染対策を徹底

●第21回さくら喫茶(令和2年10月24日)

通常であれば、お茶やお菓子を楽しみながら認知症について学んで頂けるイベントですが、コロナ禍のため頭と体を使った認知症予防体操と認知症ケアチームのスタッフである窪田真也看護師による講演を行い、認知症について詳しく学んで頂きました。



●第5回さくら健康教室(令和2年11月28日)

地域の方々の健康増進に役立ててもらう為、今回は小田稔腎センター長が「じん臓にやさしい血圧を目指そう」をテーマに講演し、中嶋由貴管理栄養士が減塩調理について話をしました。参加された方からは多くの質問が飛び出し、非常に有意義な時間になりました。



●防災避難訓練(令和2年11月26日)

有田市消防署立ち合いのもと、地震とそれに伴う津波発生という想定で防災避難訓練を実施しました。

今回は、初めてアクションカードを利用した訓練となり、スタッフも緊張しながらも真剣に取り組みました。災害時の初動対応を効率よく行うためにもアクションカードは有効であるといわれています。訓練で見た修正点等を今後活かしていきたいと思っております。その後、消火器を用いた消火訓練も行いました。今後発生が懸念される大規模災害に備え、スタッフ一同、防災意識を高めていきたいと思っております。

